

令和元年12月23日

教育研究評議会評議員 各位

総長職務代理 笠原 正典

教育評議会における総長候補者の推薦について（依頼）

12月18日開催の教育研究評議会において、総長選考会議から報告されましたように、同会議から提案のありました「教育研究評議会における総長候補者の推薦について」、総長選考会議学内委員より説明文の提出がありましたので、送付いたします。

各部局等において、総長選考の手続きの中に教育研究評議会における総長候補者の推薦を加えることについて、教員への説明を行う際にご活用ください。

本件につきましては、1月15日（水）開催の教育研究評議会において改めて意見交換を行い、教育研究評議会の推薦を加えることに関する意見を集約し、教育研究評議会による推薦を加える場合は、1月末を目途に臨時教育研究評議会を開催し、その推薦方法に関する成案を得たいと考えておりますので、御承知置きください。

【 事務担当 】

総務企画部総務課総務担当 中崎, 蝦名, 菅原

内線: 2005 FAX: 706-4870

E-mail: s-soumu@general.hokudai.ac.jp

教育研究評議会による総長候補者の推薦について

総長選考会議学内委員

すでにご承知のとおり、総長選考会議は7月10日に文部科学大臣に対して名和総長の解任の申出を行いました。現在は文部科学省において国立大学法人法及び行政手続法に基づく手続きが進められており、結論が示される時期については、総長選考会議でも把握していない状況にあります。今後の総長の選考については、現在の本学の状況を考えますと、従来と全く同じ方法で行うことは、社会的責任という観点に照らしてみても、許される状況にはないと思われます。そのため総長選考会議では、総長選考方法を見直す必要があると考え、関連する規程改正案について成案を得たところです。

総長選考会議では、総長選考にあたり従来の20名以上の教員による推薦による候補者とともに、教育研究評議会が候補者を推薦することができる手続きを新たに加えることを構想しています。総長として相応しい方を選考するためには、総長候補者を広く求めることが重要であり、従来の教員推薦以外にも候補者が推薦されるルートを作る必要があります。その際、教育研究評議会における推薦ルートを付け加えることにしたのは、次の二つの理由からです。一つは、教育研究評議会評議員は一部の部局を除き、各部局において選挙で選出され、部局の運営に携わり、現在の本学の状況をはじめ、本学の目標や中期計画あるいは将来計画等を的確に把握している教員であること。二つは、過去の総長の多くが教育研究評議会評議員の経験者であり、教育研究評議会評議員は、他の評議員の言動、性格や能力などを身近で知ることができる教員であることです。

総長選考手続きの改正案

